

大山街道の街なみ作法 ～おすすめデザイン～

大山街道では、現代的な街なみの魅力を高めながら、その中に、かつての歴史的な街道における街なみづくりの精神(和の心)を取り入れることにより、魅力的な街なみを目指したいと考えています。

大山街道の街なみ作法による街なみのイメージ

バルコニーを建物のフレームの中に組み込んで一体化することにより、外壁を整えることができます。

マンションや事務所等の現代建築でも、高さの間口を分節化することにより、宿場町のような人のスケール感にあった秩序ある街なみをつくることができます。

伝統工法の軸組をイメージしたフレームの強調や、ベランダや開口部における和風の格子手摺や格子窓の設置により、和の知恵を活かした秩序ある街なみをつくることができます。

ショーウィンドウなどにより1階はもてなしと賑わいのしつらえとすると、効果的です。



軒を設けると、人のスケール感に合った秩序をつくることができます。

街道に面して小さな緑の空間をつくると効果的です。

垂幕やのれんを設置すると、和の知恵を活かした賑わいづくりを行うことができます。

3階以上は明るく軽快な色彩デザインで空に溶け込ませます。



高さの間口の分節化による宿場町のような人のスケール感にあった街なみの創出

フレームの強調や、細かなたて棧の手すり・格子を用いた開口部の工夫による和の知恵を活かした秩序ある街なみのデザイン

和の素材を想起する色彩による落ち着いたデザイン

街道に面した積極的な緑化

1階部分のもてなしの空間づくり

街なみは2階までの外観でつくります。

大山街道の街なみづくりは、下記の8つの作法によって行うものとします。また、大山街道らしさを“現代的な魅力”と歴史性からくる“和の心”の両面からつくるため、それぞれの作法の中に、「現代の街なみの魅力を高めるための基本の作法」と「和の街なみを意識した応用の作法」を設けます。

作法1 人のスケール感に合った秩序ある街なみづくり (p14)

- 基本** ①街なみは2階までの外観でつくる
 ②間口が広い場合の分節化
 ③バルコニーと外壁のデザインの一体化
- 応用** ①軒・庇、フレームや開口部等の工夫による和のデザインを活用した街なみの演出



作法2 落ち着いた色彩による街なみづくり (p15)

- 基本** ①景観形成基準の色彩の基準の厳守による街なみづくり
 ②低層部と中高層部の外観を塗り分ける
 ③自然素材そのものの色の活用
- 応用** ①和の素材から想起されるテーマ色の活用



作法3 もてなしと賑わいの空間づくり (p17)

- 基本** ①景観形成基準の安全空間の確保と、もてなしと賑わいの空間の形成
 ②白を基調としたセットバック部分の舗装による街なみづくり
- 応用** ①和の街なみを意識したもてなしのしつらえづくり



作法4 暖かみのある灯りの活用 (p18)

- 基本** ①暖かみのある照明の活用
- 応用** ①和のデザインの灯りの活用



作法5 緑豊かな街なみづくり (p18)

- 基本** ①街道に面した部分の積極的な緑化
- 応用** ①街道に面した小さな緑のしつらえ



作法6 魅力的な看板や装飾の活用 (p19)

- 基本** ①景観形成基準の広告物の基準の厳守
 ②広告物の集約化と、節度ある大きさ、色彩の選択
 ③設備類の修景
 ④建物と一体的にデザインされた落ち着いた色彩の自動販売機
- 応用** ①木製の看板や垂幕、のれんなどの設置
 ②和を想起する中彩度、中明度の色彩の活用



作法7 向こう三軒両隣の街なみの調和 (p22)

- 基本** ①向こう三軒両隣を意識した建物のデザイン
- 応用** ①向こう三軒両隣を意識した和のしつらえ

作法8 身近なしつらえによる街なみの魅力づくり (p22)

- 基本** ①もてなしの空間を演出する身近なしつらえ
- 応用** ①もてなしの空間を演出する和のしつらえ

